

耐震安全性の目標

保有水平耐力 Q_u が、必要保有水平耐力 Q_{un} に耐震安全性の分類に応じて設定された重要度係数 I を乗じた値以上であることを、各階及び各方向別に確かめる。

$$Q_u \geq I \cdot Q_{un}$$

分類	耐震安全性の目標	重要度係数
I類	大地震動後、構造体の補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られている。	1.5
II類	大地震動後、構造体の大きな補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて機能確保が図られている。	1.25
III類	大地震動により構造体の部分的な損傷は生じるが、建築物全体の耐力の低下は著しくないことを目標とし、人命の安全確保が図られている。	1.0